

■会議結果報告書■

会議の名称	令和6年度第5回札幌市子ども・子育て会議若者支援施設在り方検討部会
日時・場所	令和7年3月5日(水)10:00 開会 大通バスセンタービル2号館2階 子ども未来局大会議室
出席委員 (6名/6名中)	永浦 拓(部会長)、荒木 奈美、岩崎 祥太、大澤 真平、金 昌震、工藤 真嗣 (敬称略)
傍聴者数	1名

議事	概要等
<p>議題1： 第4回部会における意見を踏まえた論点整理について</p>	<p>&lt;主な意見、提案&gt;</p> <p>1 学校等から離れた子ども・若者への、支援の接続強化について (委員)</p> <p>「学校に馴染まない」という表現は、学校も不登校の子どもが通いやすいように変わる必要があるのに学校は変わらない、不登校の子どもが馴染めない、というニュアンスも含まれてしまうため、「学校とのかかわりが希薄な」という事実を表す表現が望ましい。</p> <p>「支援してくれる」という表現は、「支援を受けられる」という表現が望ましい。</p> <p>自宅に落ち着いて勉強に取り組める環境がない子どももいるため、通信教育を受ける場所の提供は非常に大切。さらに付け加えると、勉強を教えるような人的サポートもあるとより一層好ましい。</p> <p>(委員)</p> <p>学校と若者支援施設の連携を進めるために、札幌市が教育委員会を通じて後押しする、管理職だけでなく現場の第一線の教員まで取組が伝わるようなサポートをすることが必要ではないか。</p> <p>(委員)</p> <p>アウトリーチの強化が重要である一方、アウトリーチだけでは支援が進まない場合もある。提言書は、アウトリーチに加えて、周辺支援者との連携やオンラインなど方策もある、などといった構成にしてはどうか。</p> <p>(委員)</p> <p>子ども・若者は大人が支援の手を差し伸べれば差し伸べるほど警戒して逃げていく。そのため、似たような境遇にある子ども・若者同士が会える環境、あえて大人が手を差し伸べない場所の提供も必要である。</p> <p>ピアグループを活かした支援も既にあり、そうしたことも書けるとよい。</p> <p>2 地理的・経済的事情から、若者支援総合センターの自立支援事業に結びついていない若者がいることに対する方策について (委員)</p> <p>若者支援施設全館に相談担当スタッフを配置することが望ましいが、現実的な問題として、社会資本の不足等により実現が困難であるということも考えられる。その場合は、若者活動センターのロビーは入口支援を担い、専門</p>

	<p>的な相談は総合センターが担うという2段階の対応を引き続き継続していただきたいと思います。</p> <p>ただし、若者活動センターに専属の相談担当スタッフを配置することが「望ましい」ことは、しっかり書いておく必要があると思う。</p> <p><b>3 ロビーの位置づけ・役割と、必要となるハード整備について</b> (委員)</p> <p>若者支援施設を視察して、ロビーは通路でもあり何をしていてもよいフリースペースでもあるという印象を受けた。ロビーには単なる第三の居場所とは別の深い意味を見出せるのではないかと感じた。</p> <p>(委員)</p> <p>ロビーやロビーワークは日本の若者支援の大きな特徴である一方、言葉の定義が一般に確立していないため、受け手によって抱くイメージが異なる可能性がある。このため提言書では、まず前段の章でロビーやロビーワークの定義が必要になる。</p> <p>提言本章では、それをより発展させるために、もっとイメージしやすいネーミングが必要ではないかという論理展開になると思う。</p> <p><b>4 区の保健福祉部門との連携強化について</b> 特段の意見なし</p> <p><b>5 持続可能な施設更新を行う上での、各機能の方向性について</b> (委員)</p> <p>「自立支援」「ロビー」は他施設で代替できない。したがって、持続可能性を考えて、機能のある程度厳選する場合、自立支援とロビーは強化拡大していく。逆に一番縮小の可能性があるのは「貸室」と言えよう。このことを提言書でどのように表現していくか。</p> <p>もう一つのポイントとして、5館全てを縮小するのか、それともいずれかの施設では貸室も残して、自立支援やロビーとの連携のモデルを見ていった方がよいのか。</p> <p>どのような書き方がシンプルで読み手に伝わりやすいのか、次回以降議論していきたい。</p>
<p><b>議題2：</b> <b>提言書の構成(案)</b> <b>について</b></p>	<p>(委員)</p> <p>若者支援施設におけるユースワーカーの存在は非常に大きい。若者支援施設基礎調査でも、スタッフとの関わりが利用者のプラスになっているというエビデンスが出ている。提言書では、若者支援施設がいかに先進的な取組を進めていて、そこにおけるユースワーカーの役割が非常に重要だということ、どこかに明記するべき。</p>